

～生物多様性の保全と持続可能な利用の推進を目指す～

第6回「生物多様性日本アワード」 グランプリ決定

グランプリ

株式会社 コクヨ工業滋賀(滋賀県)

「ヨシでびわ湖を守るリエデンプロジェクト」

生物多様性の保護のため、地域と連携して琵琶湖のヨシ刈りなどの活動に取り組んでいる。さらに、刈り取ったヨシを新たに活用したエコ文具「リエデンシリーズ」を開発し、CSV事業モデルとなる取り組みも実施しています。



刈られたヨシがそびえ立つ「丸立て」は冬の琵琶湖の風物詩に

優秀賞



株式会社アレフ(北海道)

生物多様性に配慮した持続的なお米の仕入れ活動



世界遺産白神山地 ブナ林モニタリング調査会(宮城県)

世界遺産白神山地 ブナ林の100年モニタリング



認定NPO法人 穴塚の自然と歴史の会(茨城県)

生物多様性の保全と環境教育



愛知県岡崎市立生平小学校(愛知県)

つくろう、野鳥の楽園「バードピア生平」
愛鳥や里山保全の活動を通じた自然との共生を図る児童の育成

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の名古屋開催(2010年)を機に、(公財)イオン環境財団が2009年に創設した「生物多様性日本アワード」は、国際賞「生物多様性みどり賞」と隔年で開催。生物多様性の保全に顕著な功績のある個人や団体を顕彰しています。本年度は72件の応募から5件の優秀賞を選出。株式会社コクヨ工業滋賀の「ヨシでびわ湖を守るリエデンプロジェクト」が、本年度のグランプリに決定しました。



国際連合大学での授賞式(2019年9月26日)